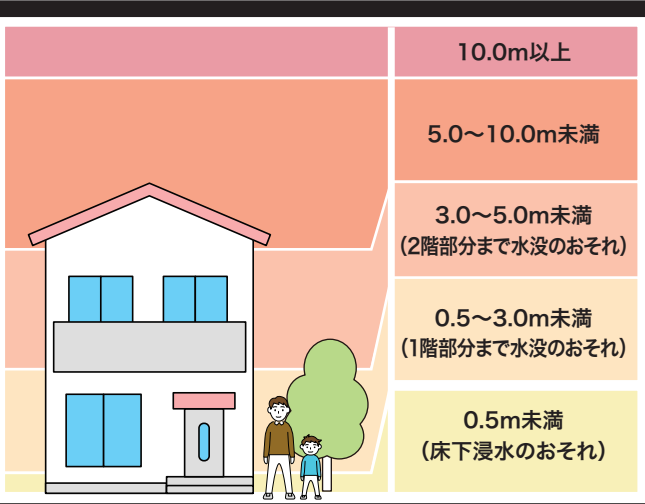


あなたの自宅はどこ？

ハザードマップで自宅等の浸水状況を確認し、災害時に取るべき行動を考えてみましょう。

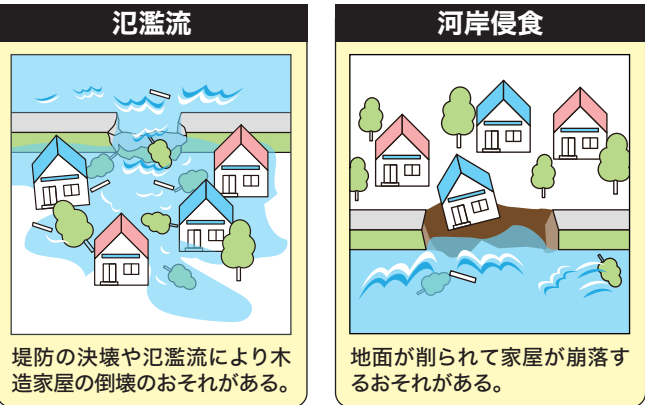
浸水する深さの目安



早期の立退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域

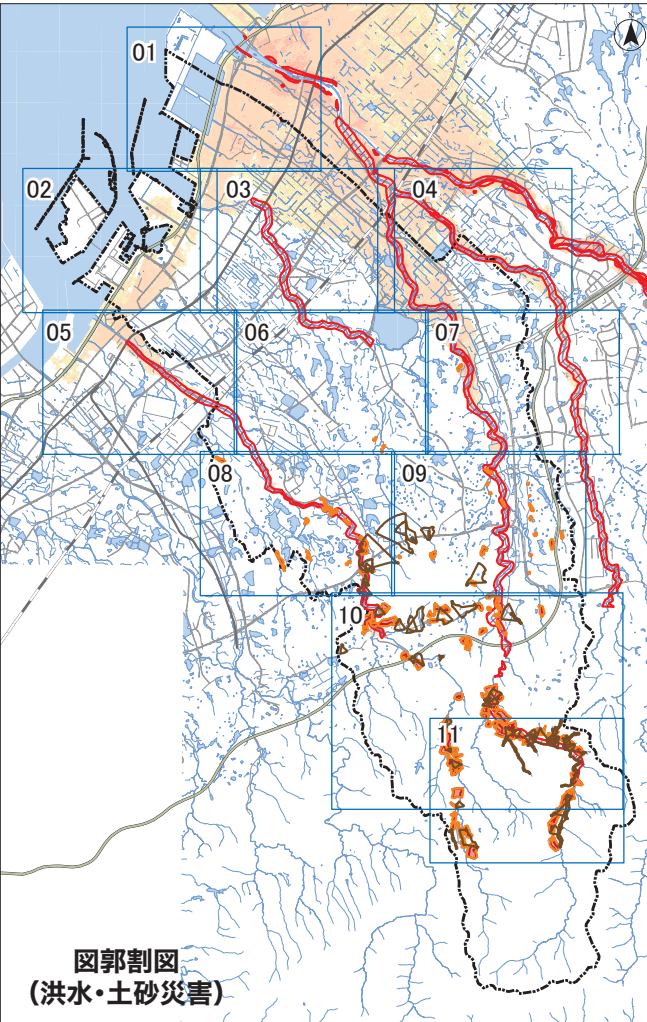
家屋の倒壊をもたらすような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早期の立退き避難が必要な区域です。



シミュレーション条件

水防法に基づく外水氾濫のシミュレーション前提条件【想定最大規模の降雨（1/1,000 年程度の降雨※）】

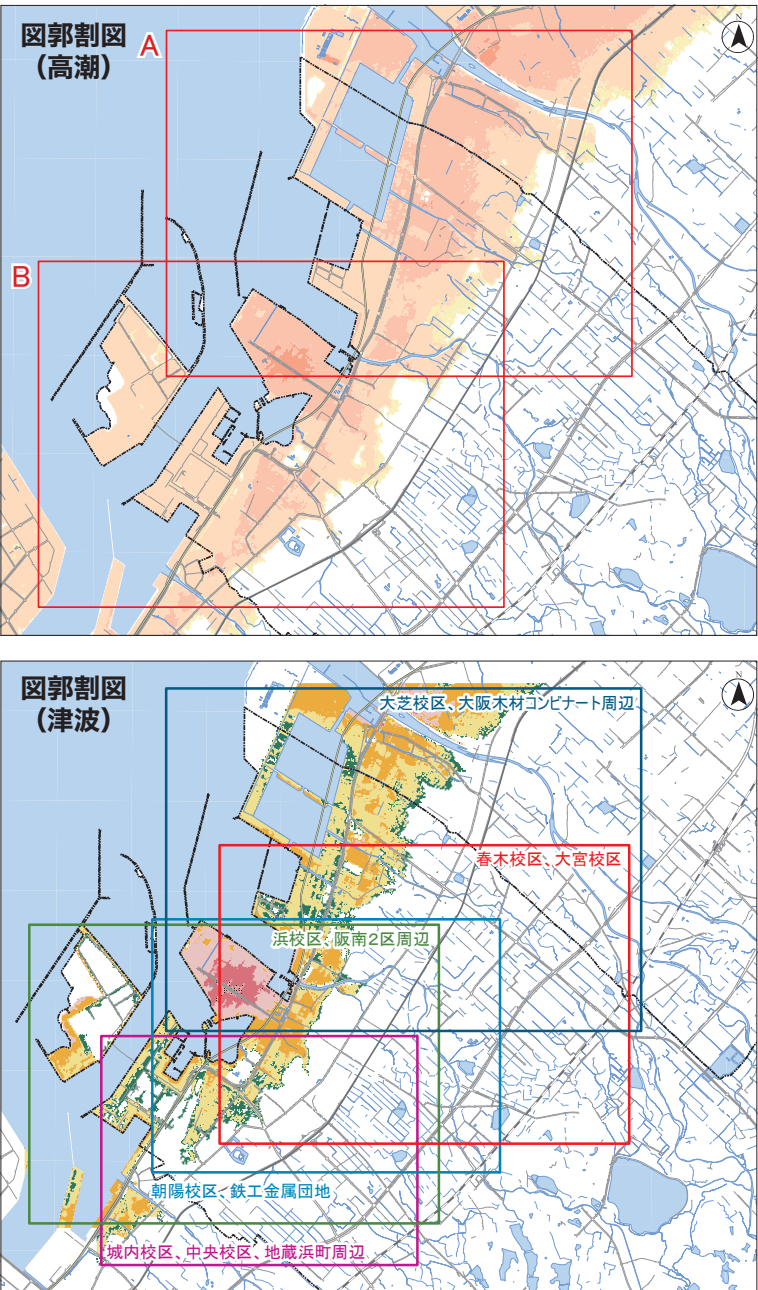
大津川水系 牛滝川、松尾川、大津川、 榎尾川、東榎尾川、父鬼川	高津地点（堺阪南線大津川橋付近）上流域の 24 時間総雨量 875.0mm、 1 時間最大雨量 101.4mm
春木川水系 春木川	春木橋地点（堺阪南線交差部）上流域の 24 時間総雨量 1,150.0mm、 1 時間最大雨量 139.7mm
津田川水系 津田川	昭代橋地点（堺阪南線交差部）上流域の 24 時間総雨量 1,150.0mm、 1 時間最大雨量 133.1mm



※この地図は以下の 8 河川の洪水浸水想定区域図を重ね合わせたものです。
大津川、榎尾川、東榎尾川、父鬼川、松尾川、牛滝川、春木川、津田川

- 指定緊急避難場所
概ね 1 ヘクタール以上の広さの公園や広場等で、一時的に避難できる場所
- 指定避難所
災害による浸水や破損等によって自宅に居ることができなくなったときやそのおそれがあるときに避難する施設
- 津波避難ビル
逃げ遅れにより南海本線より東側（山側）まで避難できない人が一時的に避難する建物

※雨の降り方や地震の規模によっては本マップに示されていない場所でも浸水する可能性や、示されている以上の浸水深となる可能性がありますので注意してください。



災害	図郭	ページ
洪水・土砂災害	01	P 7 - 8
	02	P 9 - 10
	03	P11-12
	04	P13-14
	05	P15-16
	06	P17-18
	07	P19-20
	08	P21-22
	09	P23-24
	10	P25-26
	11	P27-28
高潮	A	P29-30
	B	P31-32
津波	城内校区、中央校区、 地蔵浜町周辺	P39-40
	浜校区、 阪南 2 区周辺	P41-42
	朝陽校区、 鉄工金属団地	P43-44
	春木校区、 大宮校区	P45-46
	大芝校区、大阪木材 コンビナート周辺	P47-48

出典：
■大津川水系 大津川、榎尾川、東榎尾川、父鬼川、松尾川、牛滝川
洪水浸水想定区域図
平成31年3月 大阪府土木事務所 大阪府岸和田土木事務所
■春木川水系 春木川洪水浸水想定区域図
令和2年10月 大阪府岸和田土木事務所
■津田川水系 津田川洪水浸水想定区域図
令和2年10月 大阪府岸和田土木事務所
■大阪府津波浸水想定
平成25年8月 大阪府
■大阪府高潮浸水想定区域図
令和2年8月 大阪府港湾局
■土砂災害警戒区域等
大阪府第65次指定（～H28.9.13）まで記載
岸和田市では、内水氾濫やため池氾濫の危険性もあります。あわせて確認しましょう。
P50のQRコードより、内水氾濫ハザードマップとため池ハザードマップへアクセスができます。

水防法に基づく高潮のシミュレーション前提条件

- ・想定される最大規模の台風（室戸台風級：910hPa）
- ・潮位偏差が最大となるような台風経路を設定
- ・高潮と同時に河川での洪水を考慮
- ・最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を見込む

※○年程度の降雨とは、観測された雨量に基づいて設定された確率です。例えば1/1,000 年程度の降雨とは、1,000 年毎に1 回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1,000 (0.1%) 程度の降雨です。
毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。1,000 年の間にその規模に相当する降雨が複数回、または連続して発生することもあります。

津波のシミュレーション前提条件

内閣府公表モデルのうち大阪府への最大影響を想定
対 象 地 震：内閣府ケース 3、4、5、10 重ね合わせ
堤防取扱い：越流時に破堤（堤防なしとする）
構造物条件組み合わせ（3 条件の組み合わせ）：

	防潮堤等	水門	陸開
条件 1	地震時沈下量を考慮	開放	
条件 2		閉鎖	
条件 3	地震時沈下量なし	開放	閉鎖